

2021年1月29日

博報堂、慶應義塾大学宮田教授と『Better Co-Being プロジェクト』を始動 生活者一人ひとりのウェルビーイングが共に輝く社会をチーム企業型で実現

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）の新規事業開発組織「ミライの事業室」は、慶應義塾大学医学部の宮田裕章教授とともに、生活者一人ひとりのウェルビーイングを実現するため、『Better Co-Being プロジェクト』を開始いたしました。一人ひとりの多様な生き方を大切にしながら、社会全体のウェルビーイングを実現するための研究活動や実証実験を、ビジョンを共有する様々なパートナーとともに推進していきます。

「ウェルビーイング (Well-being)」とは人間が身体的、精神的、社会的に良好な状態であることを意味する概念です。新型コロナウイルスの感染拡大で生活者の健康に対する意識が高まり、働き方や生き方を見直す人も増えるなど、今あらためてこの概念が注目されています。

一方で、多様性がより尊重されてきた今、一面的で平均的なウェルビーイングではなく、生活者一人ひとりが違うウェルビーイングを追求し、同時にお互いの個性を活かしあえる社会の実現が求められています。

人によって異なる多様なウェルビーイングの実現には、健康状態、価値観や欲求といった個々人の要因だけでなく、他者や社会との関係、人と人との共創という視点が重要です。こうした視点を取り込むことで、一人ひとりのウェルビーイングと社会全体のウェルビーイングを両立させることが可能になると考えます。

今回活動を開始した『Better Co-Being プロジェクト』は、生活者や企業との共創を通じて、生活者一人ひとりのウェルビーイングが共に輝く社会を目指すものです。博報堂の生活者発想とクリエイティビティを發揮し、AI やデータサイエンスなどのテクノロジーを活用しながら、研究・社会実装に取り組んでいきます。

■『Better Co-Being プロジェクト』ビジョン

プロジェクト発足に伴い、「これからの時代の新しい豊かさとは、一人で創るものではなく、人々が共創の中で生み出すもの」という宮田教授の考え方のもと、「生きるをつなげる。生きるが輝く。Better Co-Being」というビジョンを共同開発しました。いのちを響き合わせて多様な社会やコミュニティを創り、その世界を共に体験する中で、一人ひとりが輝く、という新しい社会像の創造へつなげていきます。

同時に、多様な個と個が連関しあって生きる社会を表現したビジュアルシンボル「ダイバースフィア (diver-sphere) *」も開発しました。

*多様性を示す「diversity」と世界の空間を示す「sphere」を組み合わせた、これからの世界を示す造語。

Better Co-Being

生きるをつなげる。生きるが輝く。

違う個と個が、つながりあって、輝きあう社会へ。
一人ひとりが違うからこそ、
足りない力や視点を、補いあって、
互いに貢献しあうことができる。
さあ、それぞれが多様な豊かさを追求し、
一人ひとりの生き方がよりよく輝く、
新しい社会を共につくろう。

博報堂ミライの事業室は「チーム企業型事業創造」の方針のもと、このプロジェクトを通じて様々なステークホルダーと未来のウェルビーイングな社会の実現を目指し、生活者をより豊かにするサービスの構想・開発・実装に挑戦してまいります。

◆博報堂 Better Co-Being プロジェクト WEB サイト <http://bettercobeing.jp>

< 参考資料 >

【慶應義塾大学 宮田裕章（みやた ひろあき）教授】

1978 年生まれ 慶應義塾大学 医学部教授

2003 年東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程修了。同分野保健学博士（論文）

早稲田大学人間科学学術院助手、東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座助教を経て、

2009 年 4 月東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座 准教授

2014 年 4 月同教授（2015 年 5 月より非常勤）

2015 年 5 月より慶應義塾大学 医学部医療政策・管理学教室 教授

2020 年 12 月より大阪大学 医学部 招へい教授

社会的活動

2025 日本万国博覧会テーマ事業プロデューサー うめきた 2 期アドバイザー 厚生労働省 保健医療

2035 策定懇談会構成員、厚生労働省 データヘルス改革推進本部アドバイザーリーボードメンバー 新潟県 健康情報管理監 神奈川県 Value Co-Creation Officer 国際文化会館 理事 The Commons Project 評議員、日本代表

専門はデータサイエンス、科学方法論、Value Co-Creation

データサイエンスなどの科学を駆使して社会変革に挑戦し、現実をより良くするための貢献を軸に研究活動を行う。専門医制度と連携し 5000 病院が参加する National Clinical Database、LINE と厚労省の新型コロナ全国調査など、医学領域以外も含む様々な実践に取り組みむと同時に、経団連や世界経済フォーラムと連携して新しい社会ビジョンを描く。宮田が共創する社会ビジョンの 1 つは、いのちを響き合わせて多様な社会を創り、その世界を共に体験する中で一人ひとりが輝くという“共鳴する社会”である。

【博報堂 ミライの事業室】

2019年に発足した新規事業開発組織。「チーム企業型事業創造」を方針に、博報堂が自ら事業オーナーとなり、多様なパートナーと連携して大きな事業の実現を目指します。博報堂が強みとする生活者発想とクリエイティビティを活かした事業創造を通じて、事業の先にあるミライの生活創造、社会創造に挑戦していきます。<http://mirai-biz.jp/>

【報道関係のお問い合わせ】 博報堂広報室 平原・山野 koho.mail@hakuodo.co.jp 03-6441-6161

【博報堂 Better Co-Being プロジェクトに関するお問い合わせ】 bettercobeing@hakuodo.co.jp